



平成29年5月22日発行
日野市教育広報
第115号
〒191-8686 東京都日野市神明1-12-1 TEL.042-585-1111

日野市教育広報
第115号

発行 日野市教育委員会(編集 教育部学校課)

教育目標

ひのくこ
らこうせへ
びようと
くろう夢を
えよう自を

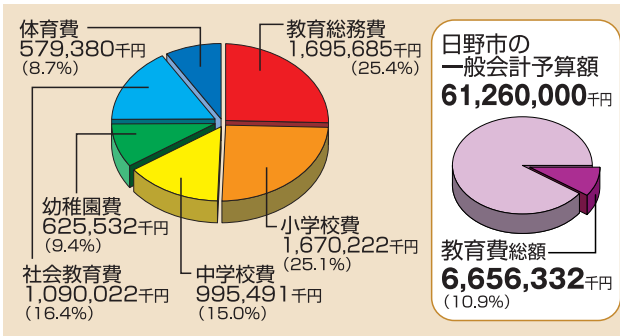
紙面から

平成29年度教育予算、コラム	1
中学校の窓	2
新しい校長先生の紹介、特別支援教育 他	3
姉妹都市盟約締結記念展 他	4

平成29年度教育予算

平成29年度の市の一般会計予算は612億6,000万円です。このうち教育費は、10.9%の約66億5,633万2千円です。

平成29年度教育費の予算構成



平成29年度教育委員会主要事業予算について

1. 学校教育関係

- 学ぶ力向上推進委員会
第2次学校教育基本構想を踏まえ「21世紀をきりひらく力」を身に付けさせるためのカリキュラム開発を行っていく。
- 被災地に学ぶ生きる力プロジェクト
●「未来に向けて、生徒たちが自ら主体的、創造的な力をいかに付けるか」を目的とし、被災地である気仙沼市を中学生が訪問し、現地の中学生との交流を通し震災で得た生き方・人としての在り方、地域の復興のために何をなすべきかなどを考えることにより生きる力を育む。
- ひのくこスタンダードの研究と実践事業
●各学級において、全ての生徒が参加しわかる授業を目指し、学級環境や指導方法などを研究・実践する。
- 小学校特別支援教室導入整備事業

- 児童が「情緒障害等通級指導学級」に通う体制から、教員が巡回して児童の在籍小学校で指導を行う特別支援教室体制に移行する。
- (5) 中学校特別支援教室モデル事業
●中学校における特別支援教室の導入について東京都のモデル事業を実施し、その課題等を検証する。
- (6) リンクスルーム事業
●中学校1校導入

- (7) 発達・教育支援システム「かしのきシート」事業
●0～18歳までの子供の個別の支援計画(かしのきシート)を作成し、発達・教育支援システムで管理・運用を実施。
- (8) スクールソーシャルワーカー配置事業
●社会福祉等の専門的な知識及び技術を活用し、児童・生徒が抱える様々な生活指導上の課題に対応するため、スクールソーシャルワーカーを配置する。

- (9) 校内LAN・タブレットPC整備
●経済的理由により修学が困難な市内に居住する小中学生の保護者に対して、学用品等購入費用の一部を補助する。
- (20) 通学路防犯カメラ設置事業
●防犯対策として、新たに5つの小学校の通学路に防犯カメラを設置する。

- (2) 子供の安全安心対策事業
●地域の力を借り、誰でも気軽に参加してもらえるような仕組みとしてボランティア登録をしてもらい、通学路の危険箇所の見回り、見守りを行う。
- (22) 安全で衛生的なトイレ環境の整備



- (10) 個別学習ソフトインタラクティブスタディをASP版(インターネットで利用できる)に変更し、小学校、中学校とも導入
- (11) 英語教育の開発
●学習指導要領の改訂を見据えながら、小学校段階からの英語教育の開発を進める。
- (12) 道徳教育の創造
●ひのくこ教育21開発委員会において「道徳」に関する部会を新設し、今後の指導の在り方を検討していく。

- (13) 体を動かす楽しさ・心地よさプロジェクト
●小・中学校9年間を通した体力向上の体系化(システムの構築)
- (14) 2020東京オリンピック・パラリンピックに向けた体力・運動能力向上への一校一取組の実施

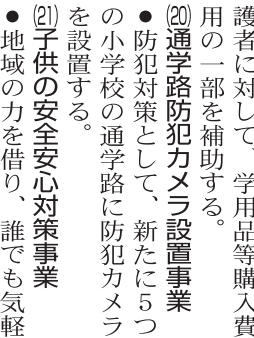
- (15) 学校図書書の充実
●心を育成するための図書資料の充実について、学級文庫の充実も含めて検討する。
- (16) 児童・生徒の芸術文化体験
●さまざまな芸術・文化を体験したり、自ら工夫・創造・表現することを通して、芸術文化を愛好・享受する心情を育む。
- (17) 食育推進活動の充実
●素材の味、旬を意識した食文化を基本とした食育活動など、「本物工房ひの」を児童生徒や保護者、地域向けに展開する。
- (18) 高校生奨学金
●経済的理由により修学が困難な市内に居住する高校生に修学上必要な資金を援助する。
- (19) 就学援助
●経済的理由により就学が困難な市内に居住する小中学生の保護者に対して、学用品等購入費用の一部を補助する。

- (23) 学校施設整備に関する中長期計画に基づく事業の推進
- (24) 地域住民との協働による避難所運営
- 各小学校単位で、自治会・自主防災会等を中心に防災についての意識の共有をするための会議等を行い、地域住民同士が顔

- (25) 適応指導教室「わかば教室」
●学習の場を確保し、学校復帰及び将来の社会的自立につながる相談や支援を行う。
- (26) 登校支援コーディネーター
●市内小中学校で作成する適応指導状況調査結果を集計・分析し、学校に対して助言を行う。
- (27) 教員研修指導員
●若手教員の授業を観察し、指導・助言及び研修を行うことにより、教員の教育力、指導力の向上を図る。

- (28) 理科教育充実事業経費
●小学校を中心に児童の問題解決能力や科学的な見方、考え方を養うため理科教育コーディネーターを配置する。
- 理科教育支援センターの役割の一つとして理科教育の充実を図るため小学校に理科観察実験アシスタントを配置し、観察・実験の授業や準備、撤収を補助する。

- (1) 土曜の教育支援体制等構築事業
●子供たちにより豊かで有意義な土曜日を実現させるため、地域の人材や企業等の協力により土曜日に体系的・継続的なプログラムを子供たち対象に行う。
- (2) 地域の力による放課後学習支援事業
●学習が遅れがち、学習習慣が身につけていない小中学生を対象に、放課後、地域の人や豊富な社会経験を持つ外部人材を活用し、学習支援を行う。



- (3) 旧蚕糸試験場日野桑園第1蚕室「桑ハウス」の保存・活用事業
●日本の近代化を支えた絹産業遺産である「桑ハウス」について、その価値と今後の活用案について広く周知する。
- (4) 日野煉瓦啓発事業
●日野の近代化遺産の一つである「日野煉瓦」を文化財指定等により価値づけ、周知することにより、「ふるさと日野」の醸成を目指す。

- (5) 「学びつながら・行動する」公民館事業「好奇心を学びの原動力に」
●多様な市民ニーズに応じて、市民の学びをさらに充実させる。
- (6) 「新しいこ」とが生まれるみんなの居場所」に向けて
●公民館の談話室や中庭のフリースペースを活用し、人づくりの発信拠点として整備する。
- (7) 日野宿周辺施設との複合化の検討
- (8) 中央図書館の耐震補強工事実施設計
- (9) 高幡図書館昇降機更新修繕

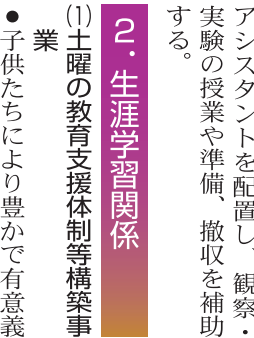
- (10) 第3次図書館基本計画策定事業
●計画期間・平成30～34年度の5年間。
- (11) 子ども読書活動推進事業
●子供の身近に本がある環境づくり、自らの楽しさを発信する取り組み、地域のボランティア団体との連携を実施する。
- (12) 特別展「日野用水開削40年記念展」日野人が守り抜いた緑と清流」開催事業
- (13) 「たきびの詩人：翼聖歌」啓発事業
- (14) 副読本「七生地域の歴史と自然(仮)」作成事業

- (15) 生涯スポーツの基礎、「国際理解」、「共生」を3つの柱とし、特色ある教育活動の充実を図る。
- (16) 学校図書の充実
●心を育成するための図書資料の充実について、学級文庫の充実も含めて検討する。
- (17) 食育推進活動の充実
●素材の味、旬を意識した食文化を基本とした食育活動など、「本物工房ひの」を児童生徒や保護者、地域向けに展開する。
- (18) 高校生奨学金
●経済的理由により修学が困難な市内に居住する高校生に修学上必要な資金を援助する。
- (19) 就学援助
●経済的理由により就学が困難な市内に居住する小中学生の保護者に対して、学用品等購入費用の一部を補助する。

- (20) 通学路防犯カメラ設置事業
●防犯対策として、新たに5つの小学校の通学路に防犯カメラを設置する。
- (21) 子供の安全安心対策事業
●地域の力を借り、誰でも気軽に参加してもらえるような仕組みとしてボランティア登録をしてもらい、通学路の危険箇所の見回り、見守りを行う。
- (22) 安全で衛生的なトイレ環境の整備

- (23) 学校施設整備に関する中長期計画に基づく事業の推進
- (24) 地域住民との協働による避難所運営
- 各小学校単位で、自治会・自主防災会等を中心に防災についての意識の共有をするための会議等を行い、地域住民同士が顔

- (25) 適応指導教室「わかば教室」
●学習の場を確保し、学校復帰及び将来の社会的自立につながる相談や支援を行う。
- (26) 登校支援コーディネーター
●市内小中学校で作成する適応指導状況調査結果を集計・分析し、学校に対して助言を行う。
- (27) 教員研修指導員
●若手教員の授業を観察し、指導・助言及び研修を行うことにより、教員の教育力、指導力の向上を図る。



- (28) 理科教育充実事業経費
●小学校を中心に児童の問題解決能力や科学的な見方、考え方を養うため理科教育コーディネーターを配置する。
- 理科教育支援センターの役割の一つとして理科教育の充実を図るため小学校に理科観察実験アシスタントを配置し、観察・実験の授業や準備、撤収を補助する。

- (1) 土曜の教育支援体制等構築事業
●子供たちにより豊かで有意義な土曜日を実現させるため、地域の人材や企業等の協力により土曜日に体系的・継続的なプログラムを子供たち対象に行う。
- (2) 地域の力による放課後学習支援事業
●学習が遅れがち、学習習慣が身につけていない小中学生を対象に、放課後、地域の人や豊富な社会経験を持つ外部人材を活用し、学習支援を行う。

- (3) 旧蚕糸試験場日野桑園第1蚕室「桑ハウス」の保存・活用事業
●日本の近代化を支えた絹産業遺産である「桑ハウス」について、その価値と今後の活用案について広く周知する。
- (4) 日野煉瓦啓発事業
●日野の近代化遺産の一つである「日野煉瓦」を文化財指定等により価値づけ、周知することにより、「ふるさと日野」の醸成を目指す。

- (5) 「学びつながら・行動する」公民館事業「好奇心を学びの原動力に」
●多様な市民ニーズに応じて、市民の学びをさらに充実させる。
- (6) 「新しいこ」とが生まれるみんなの居場所」に向けて
●公民館の談話室や中庭のフリースペースを活用し、人づくりの発信拠点として整備する。
- (7) 日野宿周辺施設との複合化の検討
- (8) 中央図書館の耐震補強工事実施設計
- (9) 高幡図書館昇降機更新修繕

- (10) 第3次図書館基本計画策定事業
●計画期間・平成30～34年度の5年間。
- (11) 子ども読書活動推進事業
●子供の身近に本がある環境づくり、自らの楽しさを発信する取り組み、地域のボランティア団体との連携を実施する。
- (12) 特別展「日野用水開削40年記念展」日野人が守り抜いた緑と清流」開催事業
- (13) 「たきびの詩人：翼聖歌」啓発事業
- (14) 副読本「七生地域の歴史と自然(仮)」作成事業



- (15) 生涯スポーツの基礎、「国際理解」、「共生」を3つの柱とし、特色ある教育活動の充実を図る。
- (16) 学校図書の充実
●心を育成するための図書資料の充実について、学級文庫の充実も含めて検討する。
- (17) 食育推進活動の充実
●素材の味、旬を意識した食文化を基本とした食育活動など、「本物工房ひの」を児童生徒や保護者、地域向けに展開する。
- (18) 高校生奨学金
●経済的理由により修学が困難な市内に居住する高校生に修学上必要な資金を援助する。
- (19) 就学援助
●経済的理由により就学が困難な市内に居住する小中学生の保護者に対して、学用品等購入費用の一部を補助する。



- (20) 通学路防犯カメラ設置事業
●防犯対策として、新たに5つの小学校の通学路に防犯カメラを設置する。
- (21) 子供の安全安心対策事業
●地域の力を借り、誰でも気軽に参加してもらえるような仕組みとしてボランティア登録をしてもらい、通学路の危険箇所の見回り、見守りを行う。
- (22) 安全で衛生的なトイレ環境の整備

- (23) 学校施設整備に関する中長期計画に基づく事業の推進
- (24) 地域住民との協働による避難所運営
- 各小学校単位で、自治会・自主防災会等を中心に防災についての意識の共有をするための会議等を行い、地域住民同士が顔

- (25) 適応指導教室「わかば教室」
●学習の場を確保し、学校復帰及び将来の社会的自立につながる相談や支援を行う。
- (26) 登校支援コーディネーター
●市内小中学校で作成する適応指導状況調査結果を集計・分析し、学校に対して助言を行う。
- (27) 教員研修指導員
●若手教員の授業を観察し、指導・助言及び研修を行うことにより、教員の教育力、指導力の向上を図る。

素晴らしいところを一緒に見つけませんか?
教育部教育指導担当参事
宇山 幸宏



大島の小学校長から、4月1日付けで教育部教育指導担当参事を拝命いたしました。
平成25年10月に発生した伊豆大島の土石流災害の際には、日野市民の皆様から多くのご支援・ご協力をいただきましたこと、心より感謝申し上げます。
さて、日野市教育委員会では、日野市総合教育大綱及び第2次日野市学校教育基本構想に基づき、学校が地域とともにグローバルな教育活動を推進できるよう支援してまいります。その推進力を高めるためには、保護者・地域の皆様方のお力が必要ですので、お願いです！ぜひ、様々な機会を通して学校をご訪問ください。そして、日野の子供たち、学校の素晴らしいところをたくさん見つけていただけないでしょうか。できましたら、こんな素晴らしいところを見つけたら、学校や教育委員会にご連絡いただければ幸いです。
皆様の一つ一つの発見が、ひのくこの自尊感情や自己肯定感を高め、学校を元気に活性化させる原動力になります。私も全力で見つけるように頑張ります！

中学校の窓

【HPも、開いてみてください】

日野市の各小中学校では、特色ある学校づくりを目指し、様々な取り組みを行っています。

今号では、中学校の様子を紹介しています。

紹介する内容は、各校のHPや学校便りの入口です。詳しくは、各校のHPをご覧ください。

（学校課）

中学校の紹介



日野第一中学校 統括校長 石村 康代

規律ある中で
充実した学校生活

本校の校章はひまわりをデザインしたものです。太陽に向かって咲くひまわりは、多くの花が集まって一つの大きな花をつくっています。その姿は、理想に向かって進む一歩一歩の姿と、生徒の一人一人が協力して学校生活を充実させていく姿を表しています。ひまわりの校章に込められた意味と願いを受けて、保護者の皆様、地域の方々と共に協力しながら、あいさつ、礼儀・礼節を大切にする生活指導の充実を基盤とした学力向上と部活動の充実を通して、思考力、判断力、表現力、コミュニケーション力の育成を目指し、ふるさとを大切に、活発なボランティア活動を通して、これからの社会を生き抜く力を培う教育を推進していきます。

中プロジェクトでは、土曜日補習（国語、数学、英語）や各種検定にも取り組みます。東京都オリンピック・パラリンピック教育推進校（東京都スーパースクール）（体力向上）の取り組み等も通じて生徒の生き抜く力の育成に努めてまいります。

HP <http://www.j-hino1.hino-ky.ed.jp/>



日野第二中学校 校長 石川 晴一

充実した教育環境

今年の3月に、待ちに待った北校舎が完成しました。外側から見える校舎は、多摩平の森をイメージするような緑色のデザインになっています。新校舎には、様々な特別教室があり、生徒は新しい校舎と新しい机や椅子など、最高の教育環境に感謝し、毎日学習に励んでいます。

また、今年度より特別支援教室（ステップ教室）が開設されました。通常級に在籍して、適切な指導や必要な支援を行う体制も整いました。今年度も、充実した教育活動を展開します。

HP <http://www.j-hino2.hino-ky.ed.jp/>



七生中学校 校長 須藤 昭人

元気にあいさつをする学校

あいさつは、人と人との心をつなぐ、社会生活に欠かすことのない大切なものです。感謝や親しみの気持ちが伝わることで、心が温かくなります。創立70周年を迎えた今年も、「あいさつとマナーの七生中」として、3つの教育目標の実現を目指していきます。

あいさつは、人と人とのコミュニケーションの第一歩です。自分の思いや考えを相手に伝えるだけでなく、相手が悩み苦しんでいる時に、その心を受け止めるきっかけになると思います。日野市全体が、明るくあいさつが響き合う町になってほしいと思います。

HP <http://www.j-nanao.hino-ky.ed.jp/>



日野第三中学校 校長 宮原 延郎

生徒にとつてよりよい
教育環境を作る学校

本校の教育目標は、「①自ら学び、考え工夫する人②自然や人々を大切にする人③自ら心身を鍛え、やりぬく人」です。この目標を達成するために、「生徒にとつてよりよい教育環境を作る学校」を目指し、自主自律の精神、個に応じた指導をおこなっていきます。

ユニバーサルデザイン化の授業を実践すると共に、三中プロジェクトの補習教室・英検教室・部活動の活性化、リソースルーム・ステップ教室を最大限に活用し、生徒の資質・能力を伸ばすように指導していきます。

また、保護者、地域、三中学区の小学校、七生特別支援学校との連携を深め、オリンピック・パラリンピック教育を推進します。

HP <http://www.j-hino3.hino-ky.ed.jp/>



日野第四中学校 校長 中村 宏

豊かな体験と
出会いのある学校

日野四中の教育活動の大きな特色は「体験的な学習活動」が充実していることです。本校では地域の方々や企業、学校、団体等の協力を得て、さまざまな体験的な学習の機会を作っています。科学技術、福祉、スポーツ、伝統文化など様々なジャンルで活躍する人から学ぶ授業や行事を通して、生徒達の社会に対する興味・関心の幅は確実に広がっています。また、新しく出会う人と積極的にコミュニケーションを持とうとする姿勢も育っています。体験的な学習活動は、生徒達が未来を切り開く力を身に付けていく上で大切な、新たな世界との出会いであり、今後も充実を図っていきます。

HP <http://www.j-hino4.hino-ky.ed.jp/>



三沢中学校 統括校長 正留 久巳

これから
「頑張る時はいつも」

三沢中学校は、昨年、開校40年をおかえ、新たな時を踏み出しています。生徒一人一人を大切に、鍛え可能性を伸ばす学校として、更に充実を図り進んでいきたいと存じます。子ども達は、未来の社会を担う全体の宝でもあります。今後とも、家庭・地域と学校との教育力を相互に補完しあえる三沢中地区でありたいと思います。人格の完成を目指し、人としての在り方を教えていくことは、時代を超えて大切なことです。そして「学ぶ姿勢」を身につけることは、生涯にわたる必要なことです。そのためには、「考える力、判断する力、伝える力」の育成が一層大切になります。授業の規律を基本に、主体的な学びを教え育てていきたいと思っています。

HP <http://www.j-misawa.hino-ky.ed.jp/>



大坂上中学校 校長 高橋 清吾

いのち輝く学び場
ホワイト＆ブルー坂中を目指して

心の成長を図りつつ、人間関係の基盤をつくる挨拶を大切に、しっかりと元気な挨拶ができる生徒の育成を目指します。また、基礎学力を大切にした分科活動を取り入れた授業、ユニバーサルデザイン化の授業や課題解決型の授業や話し合いの授業などを通して、「学びを大切に授業」を重視していきます。

さらに、お互いが学び合うには「落ち着いた学習環境」が大切です。そのため、今年度も校内環境の美化と授業規律の徹底を目指します。大切に丁寧に、活さなければならぬ姿勢、授業規律とルールを守ることを通じて、真実に学び環境を作り上げていきます。

また、体育祭、委員会活動、部活動を通して、思いやりの心を育み、夢中になつて取り組む生徒の育成も目指します。

授業や部活動を通じて、一人一人が夢中になつて命を磨き輝かせる環境を整えるとともに、道徳教育を中心とする心の成長を図る営みを通して「いのちの輝く学び場、ホワイト＆ブルー坂中」を目指してまいります。

HP <http://www.j-ohsakaue.hino-ky.ed.jp/>



平山中学校 校長 小熊 克也

この世に生きる喜びを
見いだす教育

今年度も小規模校の特徴を生かし、引き続き一人一人の生徒に丁寧で配慮のある指導・支援を行っています。学校経営の基本理念として「この世に生きる喜びを見いだす教育」を掲げました。平山中学校で受けた教育の全てがこの理念に帰着することを意味します。これを受けて目指す生徒は、①「自立していて差別・偏見を許さない。」②「コミュニケーション力があり協働できる。」③「新しい価値や解決方法を導き、創造できる。」です。これらが身に付くよう教育実践をして参ります。

HP <http://www.j-hirayama.hino-ky.ed.jp/>

新しい校長先生の紹介

新しく日野市に着任された校長先生を紹介いたします。

平山中学校



良き伝統を
引き継いで

校長 小熊 克也

秋山譲児校長先生の後任として、清瀬市教育委員会より着任しました。始業式、入学式を終えたところですが、当たり前のことを当たり前に行う校風があり、生徒のすがすがしき、りりしさに感動しました。また、先生方の、生徒への丁寧かつ熱心で配慮のある指導に感心しました。これから平山中学校の良き伝統を引き継ぐとともに、この世に生きたる喜びを見出す教育を保護者、地域の皆様方と共に実践していきますのでよろしくお願いします。

夢が丘小学校



一人一人が
生き生きと学ぶ学校

校長 山本 剛秀

阪田幸子校長先生の後任として、町田市立小山中央小学校より着任しました。私は日野市で生まれ育ちました。夢が丘小学校の校長として子供たちの教育に携わることができ、大きな喜びを感じています。子供たちの笑顔あふれる挨拶がとても気持ちがいいです。「元氣いっぱい 笑顔いっぱい 夢に向かって」一人一人が生きて学ぶ学校」に向かって、全力を尽くしてまいります。保護者や地域の皆様のご支援ご協力をお願いいたします。

日野第五小学校



笑顔いっぱいの
子供たちと・・・

校長 舘 敏晴

小林洋之校長の後任として、世田谷区立三宿小学校より着任しました。初めての日野市ということで不安がありましたが、地域、保護者の方に温かく迎えていただき大変嬉しく思っています。本校は、今年で59年目を迎える伝統ある学校で、子供たちは、明るい笑顔で挨拶ができ、やる気に満ちています。このよき伝統を受継ぎ、思いやりの心を一層伸ばせるように力を注いでまいります。保護者、地域の皆様のお力添えを、よろしくお願いします。

教育支援課

「第4次日野市特別支援教育推進計画」を策定し、取組み始めました。

教育委員会では、平成31年度までを計画期間とする「第4次日野市特別支援教育推進計画」を策定しました。

この計画では、日野市の特別支援教育の推進に向けて、切れ目のない相談・支援体制の構築、一人ひとりの子供が安心して豊かに学べる教育環境の整備など、具体的な施策を盛り込んでいます。今後、この計画に基づき、特別支援教育を推進していきますので、ご理解とご協力をお願いいたします。

なお、計画の詳細については、教育支援課、市内各図書館、市政図書室、市HPでご覧になれます。

☎教育支援課（日野市発達・教育支援センター内） ☎589・8877

就学相談について

来年度小学校または中学校へ就学・進学を予定されているお子さまを対象に就学相談を行います。

就学・進学へ向けて、学習面等で課題があると思われるお子さま、発達上気になる様子や行動が見られるなどのお子さまが、適切な教育を受けることができるにはどのような教育環境で学ぶのが望ましいのか、就学相談員が保護者の方々に必要な情報を提供し、丁寧な相談を進めていきます。

保護者と十分な相談を行った後、適正な就学先について助言する「就学相談委員会」を行います。

【平成29年度就学相談委員会 開催日程（全6回予定）】

- 第1回 9月16日(土)
- 第2回 10月14日(土)
- 第3回 11月4日(土)
- 第4回 12月9日(土)
- 第5回 1月6日(土)
- 第6回 1月20日(土)

（いずれも土曜日の午後開催。右記のいずれかに参加していただきます。）

※委員会への参加の手続きには時間がかかりますので、お早めにご相談ください。

入級・転学相談について

市内小・中学校の通常の学級に在籍している児童・生徒で、特別支援教室・通級指導学級への入室・入級、また、通常の学級から特別支援学級への転学を希望されているお子さまを対象に入級・転学相談を行います。

保護者と十分な相談を行った後、適正な入級・転学先についての助言をする「入級・転学相談会」を行っています。

【平成29年度入級・転学相談会 開催日程】

- 第1回 6月23日(金)
- 第2回 8月25日(金)
- 第3回 12月1日(金)
- 第4回 2月16日(金)

第5回 3月9日(金)

（いずれも金曜日の午後開催。上記のいずれかに参加していただきます。）

※会への参加の手続きには時間がかかりますので、お早めにご相談ください。

【相談受付】 月曜日から金曜日（祝日、年末年始を除く）午前9時から午後4時まで

【相談方法】 電話相談、来所相談（事前に電話連絡をお願いします。）

【相談申込】 「メール」 日野市発達・教育支援センター（総合受付） ☎589・8877

特別支援学級などへの就学・進学の説明会を開催します。

特別支援学級等への就学・進学を考えている保護者の方を対象に説明会を開催します。

【日時】 6月3日(土)午前10時～正午（予定）

【会場】 「メール」 日野市発達・教育支援センター（旭が丘2-4-218）

【内容】 就学・進学相談の説明、市内特別支援学級及び都立特別支援学校等の紹介など

【申込方法】 教育支援課（日野市発達・教育支援センター内） ☎589・8877

なお、当日入場も可能です。



健康課
20～40歳代女性オススメ「ふらっとエクササイズ」行っています。

最近運動していますか？親に運動習慣があると、子どもにも運動習慣がつきやすいと言われています。「ふらっとエクササイズ」で楽しく運動習慣をつけませんか。腰痛・肩こりの改善も期待できますよ。

参加費無料、申し込み不要です。1回だけの参加もOK！家事や子育てを頑張るママ、気分転換をしたい方：お買い物ついでに「ふらっと」お立ち寄りください。



【会場】 イオンモール多摩平の森 3階・イオンホール

【日時】 6月6日(火)、6月14日(水)、6月21日(水) 午前10時15分～午前11時15分

※以降の日程は左記HPよりご確認ください。

【申込】 不要。先着70名

【持ち物】 飲み物、タオル

【健康課】 ☎581・4111

ふらっとエクササイズHP

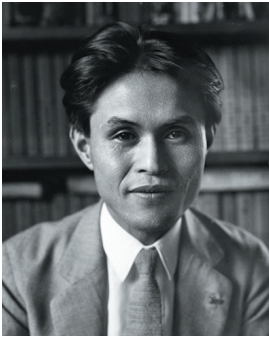
<http://www.city.hino.jp/index.cfm/193>

<http://www.city.hino.jp/index.cfm/193>

147181.331.1945.html

郷土資料館
企画展
姉妹都市盟約締結記念展
「異聖歌と岩手県
紫波町・日野市」

童謡「たきび」を作詩した異聖歌は、大正から昭和の時代に詩や児童文学作品を残し、子供から大人まで多くの人に親しまれてきました。戦後の後半生を日野市で暮らし、七生中や四小校歌も作詩しています。異聖歌が縁となって、平成29年1月30日、聖歌のふるさと岩手県紫波町と日野市が姉妹都市になりました。聖歌の直筆原稿や日記など、日野市が保管する資料の数々を展示します。



日程 7月9日(日)まで開催。
※月曜休館。

図書館
「としよかんおはなし
ピクニック2017」
報告

毎年「こども読書の日」にちなみ、図書館では「おはなしピクニック」というイベントを行っています。今年度は4月23日(日)に多摩平の森ふれあい館にて開催しました。その中で、「画本宮澤賢治シリーズ」の作者である小林敏也さんをお招きして、『注文の多い料理店』『やまなし』の2作品の幻燈会を行いました。幻想的な雰囲気の中スライドを楽しみ、小林さんの作品についてのお話も聞くことが出来ました。また、おはなし会、絵本を使ったかるた大会や、工作コー

ふるさと日野を物語る
資料を大募集！
郷土資料館まで
ご一報を。

近年、土地区画整理事業や世代交替によって、古い家の納屋や蔵が取り壊されることが多くなりました。そこで郷土資料館では、古文書や農機具といった地域の歴史や文化を物語る資料の収集をはかり、子どもたちの学習に役立てたり、貸出等を行って有効活用をしています。

郷土資料館では、地域の方々にいただいた千歯こぎ、足踏み脱穀機、唐箕等の昔の農機具を使って小学校3年生「農機具体験」や小学校5年生「米の脱穀体験」を行っています。

昔の農機具を体験することで、道具の使い方とその工夫、発展を学び、お米が口に入るまでの大変さを身をもって体験します。また小学校3年生の社会科「昔の道具と暮らし」では、小学校のリクエストに応じて、鍋、釜、火鉢、箱膳、炭火アイロン、火のし、ランプといった昔の生活

道具を持つて行き、児童たちが実際に手にとってみることで、電気やガス、水道のない時代について知り、モノを無駄にしない「エコな暮らし」を知る貴重な機会となっています。

動かすことのできる昔の道具を実際に使ってみることで、道具の役割を子どもたちが体感できる場として大変好評です。これら資料をお持ちの方は、郷土資料館までぜひご一報ください。



展示会場 郷土資料館(日野市程久保550) ☎ 592・0981

新選組のふるさと歴史館
企画展
描かれた新選組IV
「キャラクター」と
人間関係の移り変わり

今から150年くらい前、江戸時代の終わりの頃に京都で活躍した新選組は、今では漫画やアニメなどでも大人気になっていますが、実は、江戸時代が終わってすぐの明治時代から、新選組をテーマにした絵やお話がたくさん作られていました。このような、新選組を描いた浮世絵や漫画、アニメなどの歴史と、そこからうかがえる、それぞれの時代の人たちが新選組に対してもっていたイメージの移り変わりについて、展示をします。



→明治時代に描かれた、旧幕府軍の絵

本読み聞かせ入門講座」を開催します。図書館のカウンターで、小学校などでどんな絵本を読み聞かせたら良いのだろうかという保護者の方々からのご相談が増え、13年前から始まった講座です。当日は受講される皆さんに読み聞かせてみたい絵本を持参していただき、実際に読み合う時間がありますので、申込制となっています。集団に向けてどんな本を選び、どんなふうに読んだらいいか、絵本の読み聞かせに興味のある市民の方々への、初心者向け講座です。この機会をどうぞご利用ください。これからも、関係部署や子どもと読書をつなぐ活動をする方々と連携して、ひのっ子たちの読書活動を応援していきます。

文化スポーツ課
タグラグビー教室
市民体育大会



日時 6月18日(日)午前9時から正午まで(予定)
※終了後は会場で日野自動車レッドドルフィンズ対横河武蔵野アトラスターズの練習試合の観戦ができます。
※雨天時は6月25日(日)に実施
会場 日野自動車総合グラウンド
内容 5人制タグラグビー大会(1試合約10分)
対象 市内在住の小学生3年生～6年生
※5人以上10人以内のチーム単位で申込(個人での申込も可)
※オリエンテーション、ルール説明あり。初心者でも参加できます。
費用 無料
協力 日野自動車ラグビー部、明星大学ラグビー部、国士館大学ラグビー部
参加申込 5月31日までに申込書(市役所3階文化スポーツ課、南平体育館、市民陸上競技場内)を〒191・0001日野市日野本町7丁目12番地の1市民陸上競技場内 日野市体育協会事務局(☎・FAX 582・5770)へFAX又は郵送
問 文化スポーツ課

音楽のおくりもの
チケット好評発売中
0歳から楽しめる
クラシックコンサート。

日時 7月1日(出)
「0歳児からのわいわいコンサート」午前10時30分開場午前11

時間 開演
「ゆつたりアフタヌーンコンサート」午後1時30分開場午後2時開演
出演 アンサンブル・ディヴェルターズ
チケット【全席自由】
「0歳児からのわいわいコンサート」：大人1,000円、子ども(3歳～中学生)500円
「ゆつたりアフタヌーンコンサート」：大人1,000円、子ども(4歳～中学生)500円
会場 ひの煉瓦ホール(日野市民会館)大ホール
チケット取扱 ひの煉瓦ホール、七生公堂、e+ (イープラス)
問 日野市文化スポーツ課 ☎ 514・8462
主催 日野市市民会館文化事業協会



みんなで泊まろう
ハヶ岳高原大成荘
美し森のつつじがそろそろ見頃です
ご予約・お問合せは
フリーダイヤル 0120-489-571 (大成荘直通)
ハヶ岳高原大成荘 検索

家庭教育通信 22
二日の
スタートは
朝食から。
なぜ、朝食をとることは大切なのでしょう。朝食は一日の生活のスタートです。朝食をとることにより身体にエネルギーを補給し、集中力ややる気、体力を発揮し持続させ、一日の身体のリズムを整えることができます。特に、子供のころは食生活を含めた基本的な生活習慣が形成されていく大切な時期です。朝食をしっかりとる習慣を子供のころに身につけることは、生涯を通じて健康な生活をおくる基礎を培うことにもつながるのです。
出典 文部科学省発行「家庭教育手帳」(生涯学習課)